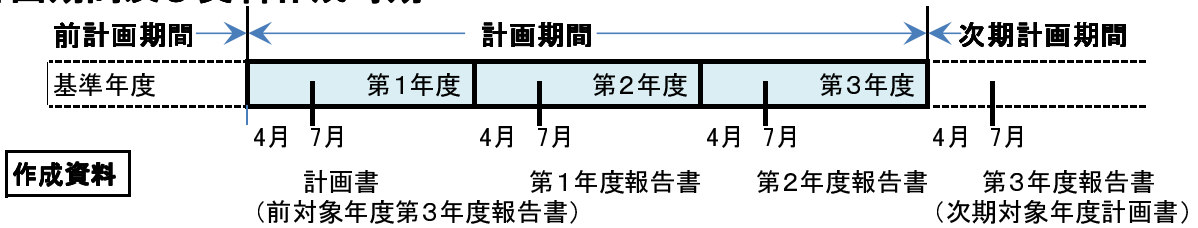


事業活動温暖化対策計画書 兼 実施状況等報告書 (総括票、個別票) の記入における注意点

計画期間及び資料作成時期



1. 計画期間は3年間で、計画書は1年度目、報告書は前年度実績について毎年作成
2. 基準年度は、計画書提出年度の前年度
3. 目標は最終年度(3年度目)の値について記載
4. 削減率は、目標及び1～3年度報告共に $\left[\frac{\text{基準年度の値} - \text{目標又は報告年度実績の値}}{\text{基準年度の値}} \right]$ で算出

資料作成方法

1. 本資料は計画から最終年度の報告まで同一資料(電子データ)に追記、修正する方式で作成し、追記の必要のない項目はそのままにしてください。
2. 計画書作成時、第1年度報告書作成時、第2年度報告書作成時及び第3年度報告作成時の資料は県へ電子データで提出し、また、各事業者が保管してください。

記入時の注意点、依頼

1. 計画書等への記入においては、下記3を参照の上、該当する欄に、無し、ゼロ等の語句、数値も含め、全ての欄に抜けの無いように記入してください。
2. 総括票の1の「制度に該当する要件」にチェックを入れることで、下記3の④に該当する欄が変わります。①～③に該当する部分を記入してください。
3. 記入欄の色と記入時期

①	黄色	計画書作成時に記入し、以降変更しない。
②	緑色	計画書作成時に記入し、報告書作成時に変化があった場合は変更する。
③	青	報告書作成時にのみ記入し、2年目、3年目の報告年度に前年度記入内容が変わった場合は変更する。
④	グレー	記載不要の項目 総括票①の「制度に該当する要件」の内容により、記載不要項目が自動で変わります。
4. 【実績】の語句がある項目は、報告年度の単年度に実施した内容、単年度の結果を記入してください。(総括票の6項、11項、12項、13項、16項及び個別票の4項、6項)
5. 【状況】の語句がある項目は、報告年度以前に実施した内容も含めて(累積して)結果を記入してください。(総括票の5項、7項、8項、9項、10項、14項、16項、15項、16項、17項及び個別票の5項、8項)
6. 「排出目標達成のための具体的措置」の項の推計削減量の算出方法
 - ・推計削減量は、年度内のいつ完了した場合にあっても、年度当初に完了したと仮定して1年度分を算出し、記入してください。
 - ・実施年度が複数年にわたる場合は、実施年度の欄に○年～△年と記入してください。推計削減量の欄については、前年度記入した内容を消し、新たな累積値を記入してください。

